

# 親の会のお誘い

川崎の親の会を始めた頃、どう会を進めていけばよいかと、その参考になればと千葉にある親の会を訪ねたことがありました。そして、後日、会のニュースを送ってくれました。そこで、毎年会費を払って、会報を送ってもらうことにしました。それは今も継続しています。その会報の最新の5月号に親の会で学んで子どもと実践した報告の文が載っていました。その一部を紹介します。「時間はかかるけど、回復する、高校生の不登校」という題のある親の方の報告です。

「娘が通っていた高校は進学校でした。毎日、山のような課題に終われる日々。ついていくのがやっと。日々忙し過ぎる生活を送っていくうちに、段々元気がなくなり、学校も休みがちになって……。2年の2学期には、ついに単位が切れて退学となりひきこもる毎日。このままひきこもってしまうのではと、不安で不安で仕方ありませんでした。……。そして、親の会に参加し、心が救われたことを覚えていてますと。……。そして、その親の会で学んだアドバイスについて、いくつかのことを書いています。

- ◎ 本人の元気が回復するのを支える → 時間がかかる。周りは覚悟を決める!!
- ◎ 気力、やる気がよみがえって来るのを待つ。
- ◎ 回復する。ただ、どれだけ時間がかかるかは分からない。
- ◎ 何もせらない。だらだらしているのは、気力が湧かないから、やれないのは当然
- ◎ 「もうしたら」「あしたら」とは言わない
- ◎ 本人がやっていることを認めてあげる
- ◎ 今、やっていること、出来たことを認めてあげる
- ……など、など

親の会でのアドバイスを夫とも共有し、娘と接するようになりました。  
—— 母親と父親と共有して、娘さんに接するということ。これは、私もすごく大事なことだと思っています。——

そして、少しずつですが自分の想いを話してくれたり、アクセサリーを作ったり始めたりと変化がでてきましたと一書いています。

そして、不登校を振り返って、今思うこととして、  
「こんな風に書いていると、「不登校を経験したけど、その後は順調に回復して行った人ですね。」と思われそうですが、そんな事はありません。  
「元気になるまで来たなあ」と、思っていたら、一日中暗い表情で過している日があったりある程度回復してきて「もう大丈夫だろう」と思っていたら……

腕にリストカットの傷あとがあったり……と。  
そんな風に「良くなり悪くなり」と繰り返しながら良い状態が多くなって  
いた」という感じです。回復への道は直線的ではありませんでした。山道を  
くねくねと登って行くように、少しずつ緩やかに、時には後戻りしながら回復し  
ていくという感じですよ。…語っています。でも、「時間はかかるけど、回復する  
と書いています。そして最後に「いつ回復するのだろう?と途方に暮れるかもしれま  
せんが、時間はかかるけど必ず回復すると言葉を信じて、親の会とつながって  
いくことだ」と思っています。まとめています。

私も同じように思っています。川崎の不登校の親の会がなかった頃、ない  
なら親の会をつくらうとはじめて、今年で14年がたちました。今は各區に  
親の会があります。その各地にある親の会が連携して、教育委員とも連携し  
た取り組みもできるようになりました。

今お子さんが不登校になり、悩んでいらっしゃるご家族の方は本当に  
大変だと思います。いつ回復するのだろうと途方に暮れてしまうかもしれませ  
んが、「時間はかかるかもしれませんが、必ず回復すると信じてくれる親御  
さんの気持ちは、きっと子供もかまちは、大きな力になるのです。

子どもの不登校を前にして、どうしても一人で悩んでいても、先きは見えません。  
そんなときは、川崎にはたくさんの親の会があります。是非近くの親の会を訪ね  
てみてください。一回ではなく、見通しがもてるまで継続的に何回でも、そして親が  
大丈夫だと思えるようになれば、子供もは、自分で歩けるようになっていきます。

不登校でどうしても一人で悩むのではなく、同じ不登校で悩んでいる親同志  
話しかけてみることをお勧めします。親の会への参加をお待ちしています。

不登校を考える親の会 川崎の会 竹内春雄  
(毎月、中原市民館奥のかわさき市民活動センター 会議室で)

2026年 5月